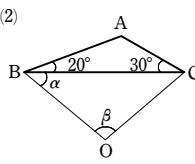
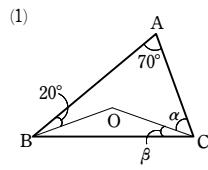
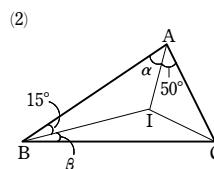
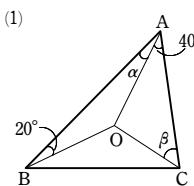


1. $\triangle ABC$ の外心を O とする。下の図の角 α , β を求めよ。

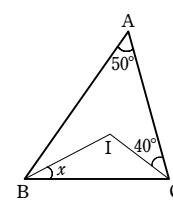


2. $\triangle ABC$ の外心を O, 内心を I とする。下の図の角 α , β を求めよ。



3. (1) 右の図において、点 I は $\triangle ABC$ の内心である。このとき、角 x を求めよ。

(2) $\triangle ABC$ の内心を I とし、直線 AI と辺 BC の交点を D とする。AB=8, BC=7, AC=4 であるとき、AI : ID を求めよ。



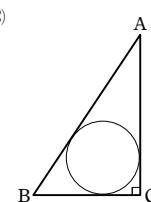
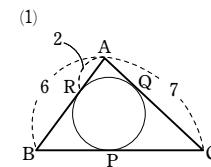
5. 3 辺の長さが次のような $\triangle ABC$ が存在するかどうかを調べよ。

(1) AB=3, BC=6, CA=2

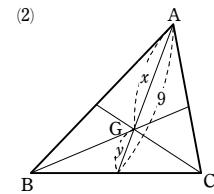
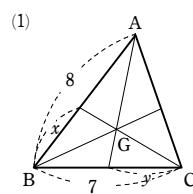
(2) AB=8, BC=10, CA=17

4. (1) 三角形 ABC の各辺が下の図のように、点 P, Q, R で円に接している。このとき、線分 AQ, BC の長さを求めよ。

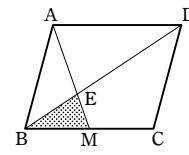
(2) 下の図の三角形 ABC は $\angle C=90^\circ$ の直角三角形である。AB=5, BC=3, CA=4 とするとき、この三角形 ABC に内接する円の半径 r を求めよ。



6. $\triangle ABC$ の重心を G とする。下の図の x , y を求めよ。



7. $\triangle ABC$ において、 $\angle A$ およびその外角の二等分線と直線 BC との交点を、それぞれ D, E とする。AB=5, AC=3, CE=6 のとき、BC および BD の長さを求めよ。



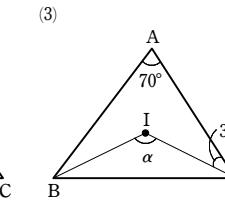
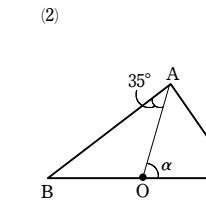
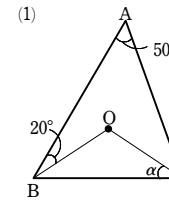
8. 平行四辺形 ABCD において、辺 BC の中点を M とし、AM と BD との交点を E とする。このとき、 $\triangle BME$ の面積と平行四辺形 ABCD の面積との比を求めよ。

9. $\triangle ABC$ で、 $\angle A$ およびその外角の二等分線が直線 BC と交わる点をそれぞれ D, E とする。AB=8, BC=7, CA=6 のとき、次の長さを求めよ。

(1) BD

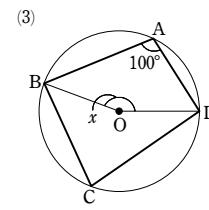
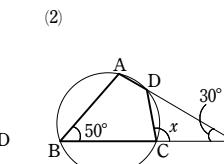
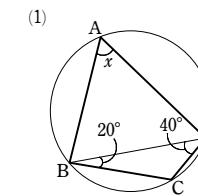
(2) CE

10. 次の図で、点 O は $\triangle ABC$ の外心、点 I は $\triangle ABC$ の内心である。それについて $\angle \alpha$ の大きさを求めよ。

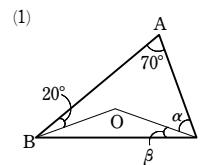


11. AB=6, BC=10, CA=8 である $\triangle ABC$ の内心を I とする。直線 AI と辺 BC の交点を D とするとき、AI : ID を求めよ。

12. 次の図で、 $\angle x$ の大きさを求めよ。ただし、(3) の点 O は円の中心である。



1. $\triangle ABC$ の外心を O とする。下の図の角 α , β を求めよ。



解答 (1) $\alpha=50^\circ$, $\beta=20^\circ$ (2) $\alpha=40^\circ$, $\beta=100^\circ$

(1) $\angle OAB=\angle OBA=20^\circ$ から $\angle OAC=50^\circ$
よって $\alpha=\angle OAC=50^\circ$
 $\angle OBC=\angle OCB=\beta$ から, $\triangle ABC$ において
 $20^\circ+70^\circ+2\beta=180^\circ$
ゆえに $\beta=20^\circ$

別解 (後半) $\angle BOC=2\angle BAC=140^\circ$
ゆえに $\beta=\frac{180^\circ-140^\circ}{2}=20^\circ$

(2) $\angle BAC=180^\circ-(20^\circ+30^\circ)=130^\circ$ ①
ここで, $\angle OBC=\angle OCB=\alpha$ であるから

$$\begin{aligned}\angle BAC &= \angle OAB + \angle OAC \\ &= \angle OBA + \angle OCA \\ &= (20^\circ+\alpha)+(30^\circ+\alpha) \\ &= 2\alpha+50^\circ \quad \dots \dots ②\end{aligned}$$

①, ②から $2\alpha+50^\circ=130^\circ$

よって $\alpha=40^\circ$

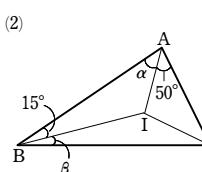
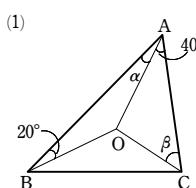
ゆえに $\beta=180^\circ-2\times40^\circ=100^\circ$

別解 $360^\circ-\beta=2\angle BAC=2\times130^\circ=260^\circ$

ゆえに $\beta=100^\circ$

$$\text{また } \alpha=\frac{180^\circ-\beta}{2}=40^\circ$$

2. $\triangle ABC$ の外心を O , 内心を I とする。下の図の角 α , β を求めよ。

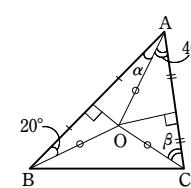


解答 (1) $\alpha=20^\circ$, $\beta=40^\circ$ (2) $\alpha=50^\circ$, $\beta=15^\circ$

(1) 点 O は $\triangle ABC$ の3つの頂点からの距離が等しい
から

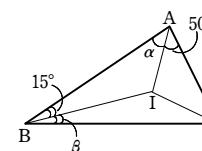
$$OA=OB=OC$$

よって $\alpha=20^\circ$, $\beta=40^\circ$



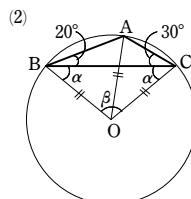
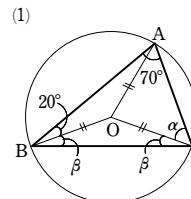
(2) 点 I は $\triangle ABC$ の3つの内角の二等分線上にあるか
ら

$$\alpha=50^\circ, \beta=15^\circ$$



3. (1) 右の図において、点 I は $\triangle ABC$ の内心である。このとき、角 x を求めよ。

(2) $\triangle ABC$ の内心を I とし、直線 AI と辺 BC の交点を D とする。 $AB=8$, $BC=7$, $AC=4$ であるとき、 $AI : ID$ を求めよ。



解答 (1) $x=25^\circ$ (2) $12:7$

(1) $\angle ICB=\angle ICA=40^\circ$, $\angle IBA=\angle IBC=x$ から

$$2x+50^\circ+40^\circ\times 2=180^\circ$$

よって $x=25^\circ$

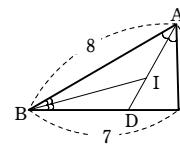
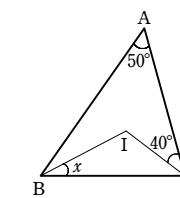
(2) 直線 AD は $\angle A$ の二等分線であるから

$$\begin{aligned}BD:DC &= AB:AC \\ &= 8:4 = 2:1\end{aligned}$$

$$\text{よって } BD=\frac{2}{2+1}\times BC=\frac{14}{3}$$

直線 BI は $\angle B$ の二等分線であるから

$$AI:ID=BA:BD=8:\frac{14}{3}=12:7$$



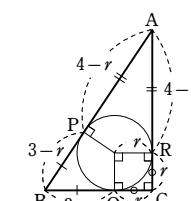
(2) 内接円と辺 AB , BC , CA との接点をそれぞれ P , Q , R とする。
 $RC=r$, $QC=r$ であるから

$$AP=AR=4-r, BP=BQ=3-r$$

$$AP+BQ=AB \text{ であるから}$$

$$(4-r)+(3-r)=5$$

$$\text{よって } r=1$$



5. 3辺の長さが次のような $\triangle ABC$ が存在するかどうかを調べよ。

(1) $AB=3$, $BC=6$, $CA=2$

(2) $AB=8$, $BC=10$, $CA=17$

解答 (1) 存在しない (2) 存在する

(1) $CA < AB < BC$ であり

$$CA+AB=5$$

よって $BC > CA+AB$

ゆえに, $\triangle ABC$ は存在しない。 図

(2) $AB < BC < CA$ であり

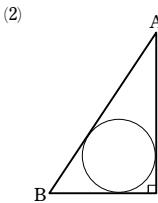
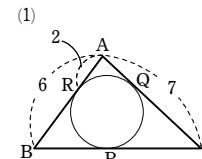
$$AB+BC=18$$

よって $CA < AB+BC$

ゆえに, $\triangle ABC$ は存在する。 図

4. (1) 三角形 ABC の各辺が下の図のように、点 P , Q , R で円に接している。このとき、線分 AQ , BC の長さを求めよ。

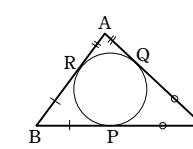
(2) 下の図の三角形 ABC は $\angle C=90^\circ$ の直角三角形である。 $AB=5$, $BC=3$, $CA=4$ とするとき、この三角形 ABC に内接する円の半径 r を求めよ。



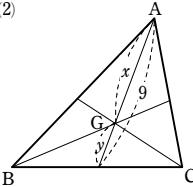
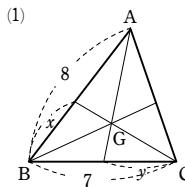
解答 (1) $AQ=2$, $BC=9$ (2) $r=1$

(1) $AQ=AR=2$

$BP=BR=6-2=4$, $CP=CQ=7-2=5$ から
 $BC=BP+CP=4+5=9$



6. $\triangle ABC$ の重心を G とする。下の図の x, y を求めよ。



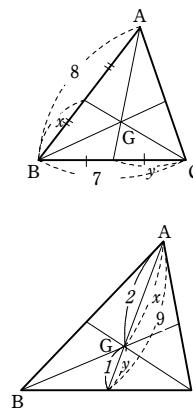
解答 (1) $x=4, y=\frac{7}{2}$ (2) $x=6, y=3$

(1) 点 G は $\triangle ABC$ の 3 つの中線の交点であるから

$$x=4, y=\frac{7}{2}$$

(2) 点 G は $\triangle ABC$ の各中線を 2 : 1 に内分するから

$$x=9 \times \frac{2}{3}=6 \\ y=9-6=3$$



7. $\triangle ABC$ において、 $\angle A$ およびその外角の二等分線と直線 BC との交点を、それぞれ D, E とする。AB=5, AC=3, CE=6 のとき、BC および BD の長さを求める。

解答 $BC=4, BD=\frac{5}{2}$

直線 AE は $\angle A$ の外角の二等分線であるから

$$BE : EC = AB : AC = 5 : 3$$

よって $(BC+6) : 6 = 5 : 3$

ゆえに $3(BC+6)=30$

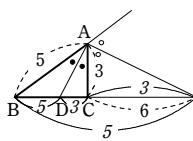
よって $BC=4$

直線 AD は $\angle A$ の二等分線であるから

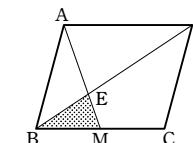
$$BD : DC = AB : AC = 5 : 3$$

$BC=4$ であるから

$$BD = \frac{5}{5+3} \times BC = \frac{5}{8} \times 4 = \frac{5}{2}$$



8. 平行四辺形 ABCD において、辺 BC の中点を M とし、AM と BD との交点を E とする。このとき、 $\triangle BME$ の面積と平行四辺形 ABCD の面積との比を求める。



線分 AC, BD の交点を F とする。

$\triangle ABC$ において、E は中線 AM, BF の交点であるから、重心である。

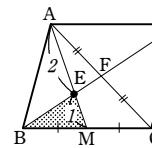
よって $AE : EM = 2 : 1$

したがって $\triangle BME = \frac{1}{3} \triangle BMA$

$$= \frac{1}{3} \times \frac{1}{2} \triangle ABC$$

$$= \frac{1}{3} \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \square ABCD = \frac{1}{12} \square ABCD$$

ゆえに $\triangle BME : \square ABCD = 1 : 12$

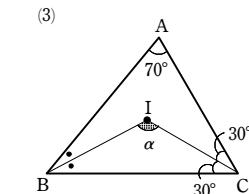


(3) $\angle BCI = \angle ACI = 30^\circ$

よって $\angle B = 180^\circ - 70^\circ - (30^\circ + 30^\circ) = 50^\circ$

ゆえに $\angle IBC = 50^\circ / 2 = 25^\circ$

したがって $\alpha = 180^\circ - 25^\circ - 30^\circ = 125^\circ$ 図



11. $AB=6, BC=10, CA=8$ である $\triangle ABC$ の内心を I とする。直線 AI と辺 BC の交点を D とするとき、AI : ID を求めよ。

解答 7 : 5

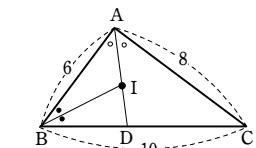
AI は $\angle A$ の二等分線であるから

$$BD : DC = AB : AC$$

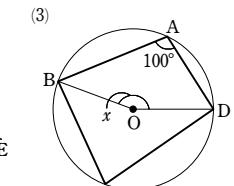
$$= 6 : 8 = 3 : 4$$

よって $BD = BC \times \frac{3}{3+4} = \frac{30}{7}$

$$AI : ID = BA : BD = 6 : \frac{30}{7} = 7 : 5$$



12. 次の図で、 $\angle x$ の大きさを求める。ただし、(3)の点 O は円の中心である。



解答 (1) 60° (2) 100° (3) 160°

(1) $\triangle BCD$ において $\angle C = 180^\circ - (20^\circ + 40^\circ) = 120^\circ$

よって $x = 180^\circ - \angle C = 180^\circ - 120^\circ = 60^\circ$ 図

(2) $\angle A = \angle DCE = x$

よって、 $\triangle ABE$ において $x = 180^\circ - (50^\circ + 30^\circ) = 100^\circ$ 図

別解 $\angle CDE = \angle B = 50^\circ$

よって、 $\triangle DCE$ において

$$x = 180^\circ - (50^\circ + 30^\circ) = 100^\circ$$

(3) $\angle C = 180^\circ - \angle A$

$$= 180^\circ - 100^\circ$$

$$= 80^\circ$$

よって $x = 2\angle C = 2 \times 80^\circ$

$$= 160^\circ$$
 図

